

VMware vRealize Operations

物理 / 仮想 / クラウドなどインフラストラクチャ全体にわたる
インテリジェントな運用管理を実現

概要

VMware vRealize® Operations™ は、物理、仮想、クラウド インフラストラクチャ全体のための、インテリジェントな運用管理ツールです。vSphere® 以外のハイパーバイザーや、Amazon Web Services のようなパブリッククラウドにも対応しています。操作性に優れた統合管理ツールを使用してアプリケーションとストレージのデータを関連付け、プロアクティブな対応を可能にする予測分析とポリシーベースの自動化を活用することで、パフォーマンス、キャパシティ、構成を制御できます。

主なメリット

- 発生しつつあるパフォーマンス、キャパシティ、構成の問題をプロアクティブに特定して修正
- アプリケーションおよびインフラストラクチャを単一のコンソールで包括的に可視化
- キャパシティの最適化とプランニングの自動化
- インテリジェントなワークロードの配置とบาลancingによる、リソース競合の解決とパフォーマンスの向上
- 標準構成の適用によるコンプライアンスの維持
- 既存のリソースを活用できる拡張性に優れたオープンなプラットフォームと、Microsoft 社、SAP 社などの製品に対応するサードパーティ製管理パック

詳細情報

VMware 製品のご購入または詳細情報については、製品 Web サイトをご覧ください (<http://www.vmware.com/jp/products>)。製品仕様とシステム要件の詳細については、次の Web サイトから、VMware vRealize Operations のドキュメントを参照してください。

www.vmware.com/jp/products/vrealize-operations



物理インフラストラクチャ、仮想インフラストラクチャ、クラウド インフラストラクチャ向けに
インテリジェントな運用を実現

VMware vRealize Operations の概要

従来型の運用管理システムは、今日の仮想およびクラウド インフラストラクチャの要件を満たしていません。アプリケーションやインフラストラクチャ スタック全体の指標を統合、関連付け、分析するインテリジェントな機能が存在しないため、IT 部門は問題が発生してから対応に追われることになります。

vRealize Operations は、拡張性と耐障害性に優れたプラットフォームを基盤としており、インテリジェントな運用情報を提供します。vSphere、Hyper-V、Amazon Web Services (AWS) などに対応しており、仮想、物理、クラウド環境全体にわたって、アプリケーションとインフラストラクチャの管理を簡素化および自動化します。

vRealize Operations では、アプリケーションやインフラストラクチャの状態を 1 か所から包括的に確認できるため、企業の規模を問わず、IT 部門によるパフォーマンスの向上、システム停止の回避、効率性の向上が可能となります。

vRealize Operations のメリット

- Software-Defined Data Center (SDDC) におけるパフォーマンスと可用性の向上：** 予測分析、スマート アラート、ガイド付きの修正機能によって、ストレージからアプリケーションまでのパフォーマンスと健全性の監視を統合することで、SDDC のパフォーマンスの向上、システム停止の回避、プロアクティブな管理を実現します。
- インフラストラクチャの使用率の最適化：** 再利用と適切なサイジング、クラスター間でのワークロードの配置、計画や予測の向上によってリソース使用率を最適化することで効率性を強化し、IT と構成の標準を適用します。
- 異種混在のデータセンターや複数のパブリック クラウドにまたがる統合管理：** サードパーティ製管理パックを利用できる拡張可能なプラットフォームにより、アプリケーション、物理インフラストラクチャ コンポーネント、パブリック クラウドを 1 つの画面で包括的に把握できるため、運用が簡素化されます。

vRealize Operations			
主な機能			
単体製品のエディション (OSI 単位のライセンス)	Standard	Advanced	Enterprise
単体製品のエディション (CPU 単位のライセンス)	Standard	Advanced	
本製品を含む VMware のスイート (CPU 単位のライセンス)	VMware vSphere with Operations Management™	VMware vRealize Suite/ vCloud Suite Standard、 Advanced、Enterprise	vRealize Suite/vCloud Suite の一部として vRealize Operations の アプリケーション監視機能 のみが含まれる
運用プラットフォーム			
スケールアウト可能なプラットフォーム	○	○	○
シングル サインオン	○	○	○
リモート コレクタの高可用性	○	○	○
自動化フレームワーク (自動修正)	○	○	○
組み込みの高可用性機能 (プラットフォーム ノードの自動フェイルオーバー)		○	○
可視化			
運用ダッシュボード、ビュー、レポート	○	○	○
カスタマイズ可能なダッシュボードとレポート機能		○	○
ユーザー別のダッシュボード	○	○	○
スーパー メトリック		○	○
ポリシー管理			
柔軟な運用ポリシーと運用グループ	○	○	○
ガイド付き修正機能	○	○	○
ロール ベースのアクセス コントロール	○	○	○
パフォーマンスの監視および分析			
vSphere の健全性の監視	○	○	○
自己学習型分析機能と動的しきい値	○	○	○
スマート アラート	○	○	○
推奨されるアクションのランディング ページ	○	○	○
根本原因の分析と推奨の提示	○	○	○
OS リソース (CPU、ディスク、メモリー、ネットワーク) の監視		○	○
キャパシティ管理			
キャパシティの測定、トレンド分析、適切なサイジング、 リソースの最適化	○	○	○
カスタム データセンターの作成	○	○	○
カスタム キャパシティ プロファイル	○	○	○
キャパシティ モデル、What-if シナリオ	○	○	○
モデル ベースの分析用のキャパシティ予約のコミット	○	○	○
リソースの監視、プランニング、最適化 (あらゆるオブジェクト に適用可能) ¹		○	○
ワークロードの調整			
移行操作	○	○	○
Predictive DRS ²	○	○	○
リバランス処理 ³	○	○	○
ワークロードのプランニングとバランシング用のダッシュボード	○	○	○

vRealize Operations			
主な機能			
単体製品のエディション (OSI 単位のライセンス)	Standard	Advanced	Enterprise
単体製品のエディション (CPU 単位のライセンス)	Standard	Advanced	
本製品を含む VMware のスイート (CPU 単位のライセンス)	VMware vSphere with Operations Management™	VMware vRealize Suite/ vCloud Suite Standard、 Advanced、Enterprise	vRealize Suite/vCloud Suite の一部として vRealize Operations の アプリケーション監視機能 のみが含まれる
変更、構成、コンプライアンスの管理			
vSphere のセキュリティ強化	○	○	○
vSphere の変更、構成、コンプライアンスの維持		○	○
OS レベルの変更、構成、パッチの管理			○
OS レベルのコンプライアンス管理パック (PCI、HIPAA、SOX など) *			○
アプリケーションの依存関係のマッピング (VIN)			
アプリケーションの自動検出と依存関係の視覚化		○	○
名前付けとバージョン管理		○	○
アプリケーションの監視 ⁴			
アプリケーション、ミドルウェア、データベースの監視			○
VMware の管理パック			
vCenter Server/vRealize Log Insight™ / vRealize Automation™ /vRealize Business™ / vRealize Orchestrator™	○	○	○
Management Pack for Storage Devices ⁵	○	○	○
マルチクラウド (vCloud Air、AWS、OpenStack)		○	○
EPIC と Meditech の管理パック ⁶			○
サードパーティ製管理パック ⁷			
コンピューティング / サーバー	○	○	○
ストレージ、ネットワーク、コンバージド / ハイパーコンバージド		○	○
その他のハイパーバイザー		○	○
マネージャーのマネージャー (MoM) / コネクタ		○	○
データベース / アプリケーションとミドルウェア			○

vRealize Operations			
主な機能			
単体製品のエディション (OSI 単位のライセンス)	Standard	Advanced	Enterprise
単体製品のエディション (CPU 単位のライセンス)	Standard	Advanced	
本製品を含む VMware のスイート (CPU 単位のライセンス)	VMware vSphere with Operations Management™	VMware vRealize Suite/ vCloud Suite Standard、 Advanced、Enterprise	vRealize Suite/vCloud Suite の一部として vRealize Operations の アプリケーション監視機能 のみが含まれる
API			
基本的な API：すべてのお客様が利用可能 (送信データ / アラート、抽出、アラート定義 / 管理、ユーザー管理など)	○	○	○
高度な API：ADV/ENT のお客様のみが利用可能 (リソース / データの追加、レポートの生成など)		○	○
vRealize Operations のコンポーネント			
vRealize Operations Manager	○	○	○
vRealize Infrastructure Navigator™ ⁸		○	○

1. 高度な API を使用してカスタマイズするか、対応する管理パックで使用可能
2. スケールの制限については製品ドキュメントを参照
3. オンにするには DRS が必要
4. アプリケーション監視は、vRealize/vCloud Suite Standard と Advanced のアドオン、または vRealize Enterprise の一部として利用できます。アプリケーション固有の管理パックを追加で購入することが必要な場合もあります。
5. VMware vSAN に限定 (Standard エディションのみ)
6. EPIC と Meditech は別売
7. vRealize Operations の製品パッケージおよびダウンロード版には含まれていません。別売の場合もあります。
8. vRealize Infrastructure Navigator は vSphere 6.5 と互換性がありません。

サードパーティ製管理パック：サードパーティ製管理パックおよび拡張機能の一覧については、<https://solutionexchange.vmware.com/store> (英語) を参照してください。

